

大阪府立松原高等学校 自立支援コースの紹介



I 共生の歩み

1978年、松原高校では、5期生の時から障がいのある生徒の受け入れの取り組みがスタートしました。「障がいのある仲間とともに松原高校へ行くんだ！」という地元中学生達が2万人の署名行動を起こし、「準高生」という交流生としての登校が実現しました。これ以降も「準高生」の取り組みは、仲間たちの熱い思いと行動に支えられて受け継がれ発展しました。そして、その取り組みの上に、2006年度より、知的障がいのある生徒受け入れの制度化〈自立支援コース〉が実現しました。

II 知的障がい生徒自立支援コース選抜について

- ☆ 募集定員：各学年4名（2018年度より1名増員）
- ☆ 志願条件：療育手帳を所持する者、または公的機関により知的障がいを有すると判定された者。在籍中学校長の推薦を受けた者。ともに学ぼうという意欲のある者。
- ☆ 選考：自己申告書等提出書類に基づいて個人面接を行います。原則、保護者に同伴していただきます。

III 本校の自立支援コースの基本方針・特徴

- ☆ 障がいのある生徒も当たり前で生活してゆける インクルーシブな学校づくり
- ☆ 「ともに生きる」 生徒相互が支え合い 学び合う関係を育てる

本校では、各学年の支援生を中心に据えて一緒に交流活動をする「仲間の会」があります。まず触れ合うことで互いを受けとめてゆき、困ったときは一緒に悩み課題を共有することを大切にしています。たこ焼きパーティーやもちつき大会、合宿、文化祭中庭コンサート、地域でのボランティア活動や小中学校との交流や講演活動など、様々な活動を通して学校内にとどまらず地域にも交流の輪を広げています。

III 学校生活のスタイル

- ☆ クラスに所属します。複数のクラス担任と学年の自立支援コーディネーターが中心となって学校生活全般をサポートします。行事もクラブもすべてみんなと一緒に参加・活動します。
- ☆ 授業のスタイルは次の3つです。①教室で受けるサポートなしの授業 ②教室で受けるサポートありの授業③別室での個別の授業（2～3名合同授業もあり）。入り込みの授業の場合、学習サポーターが必要に応じたサポートをしますが、目標は支援生が自分からヘルプメッセージを出し、周囲の生徒との関係性を作れるようになることを目指しています。